



経済日誌 (8.1~8.31)

国内外

8.5◇人口50万人減、過去最大

総務省が発表した住民基本台帳に基づく人口動態調査によると、2020年1月1日時点の国内の日本人は1億2,427万1,318人で、前年から50万5,046人(0.40%)減少した。2009年をピークに11年連続の減少で、減少数、減少率とも1968年の調査開始以来、過去最大となった。

8.17◇GDP、年27.8%減

内閣府が発表した2020年4~6月期の国内総生産(GDP、季節調整値)の速報値は、物価変動を除く実質で、前期比7.8%減、年率換算では27.8%減となった。新型コロナウイルスの感染拡大で、リーマン・ショック後の2009年1~3月期の年率17.8%減を超えて戦後最大の落込みとなった。

8.21◇みずほ、通帳発行1,100円

みずほ銀行は、2021年1月から、新規の口座開設で紙の預金通帳を発行する際に1,100円の手数料(税込み)を取ると発表した。インターネット上で出入金を管理するデジタル通帳への移行を促し、経費削減につなげる。メガバンクでの導入は初めてで、同様の動きが他行に広がる可能性もある。

8.27◇携帯乗換え、手数料無料

総務省は、携帯電話番号を変えずに他社に乗り換える「番号持ち運び制度(MNP)」の手数料について、ウェブ上で手続きする場合は無料にする方針を固めた。店頭や電話での手続きでも1千円以下に引き下げる。乗り換えを活発にすることで事業者間の競争を促し、料金の値下げを図る。

県内

8.1◇芝生広場、完成

秋田市がJR秋田駅西口に整備を進めていた芝生広場が完成し、供用開始となった。総面積は約4,600平方メートルで、そのうち芝生部分の面積は約1,400平方メートル。日常の憩いの場として開放されるほか、秋田市やJRのイベント会場としても利用される。

8.3◇30蔵元、統一ラベル

県酒造協同組合は、消費が低迷する酒造業界を盛り上げようと、県内30蔵元の統一ラベルの特別限定酒「秋田旬吟醸2020」の予約販売を始めた。各蔵540本の数量限定だが、申込みが殺到し、当日中にインターネットでの予約を中止した。再開した10日には即日完売した。

8.5◇最低賃金、2円引上げ

秋田地方最低賃金審議会は、県内の最低賃金(時給)を2円引き上げ792円とするよう秋田労働局長に答申した。引上げ幅は2012年以来8年ぶりの1桁台。県内の10労働組合が引上げ幅の拡大を求めて異議を申し立てたが、21日に同審議会は答申通りとすることを決めた。

8.6◇青ガエル、大館へ

東京・JR渋谷駅のシンボルのひとつで、ハチ公前広場に設置されていた鉄道車両、通称「青ガエル」が大館市の観光交流施設「秋田犬の里」に到着した。大館市と渋谷区の交流を紹介するパネルや入口へのスロープを設置し、9月下旬に無料休憩所として開放される予定。